防ごう！子宮頸がん



一次予防「HPVワクチン」
二次予防「子宮頸がん検診」

20歳を過ぎたら、1~2年に1回
子宮頸がん検診を受診しましょう。

子宮頸がんとはどんな病気？

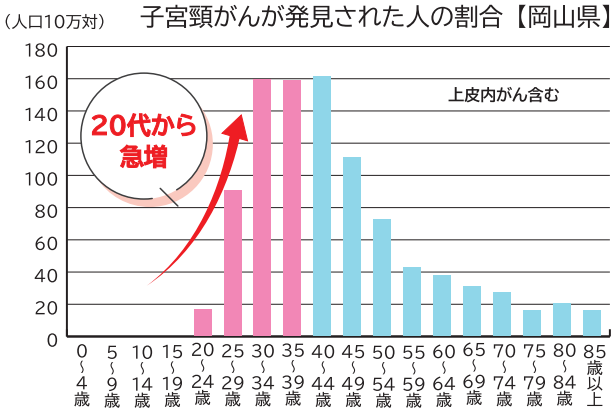
子宮頸がんは子宮の入り口付近に発生する「がん」です。ほとんど自覚症状がなく、症状が出た時には、かなり進行していることもあります。20代・30代の若い世代で急増しています。

▶症状

・月経に関係ない出血がある。
・茶色のおりものが増える、悪臭を伴う。
・下腹部や腰が痛む　など

▶原因

主な原因は、HPV（ヒトパピローマウイルス）への感染です。
HPVはとてもありふれたウイルスで、性交渉の経験が一度でもあれば、誰でも感染する可能性があります。
HPVに感染しても、多くの場合は自然に消えますが、一部は数年から数十年かけて、子宮頸がんになってしまうことがあります。



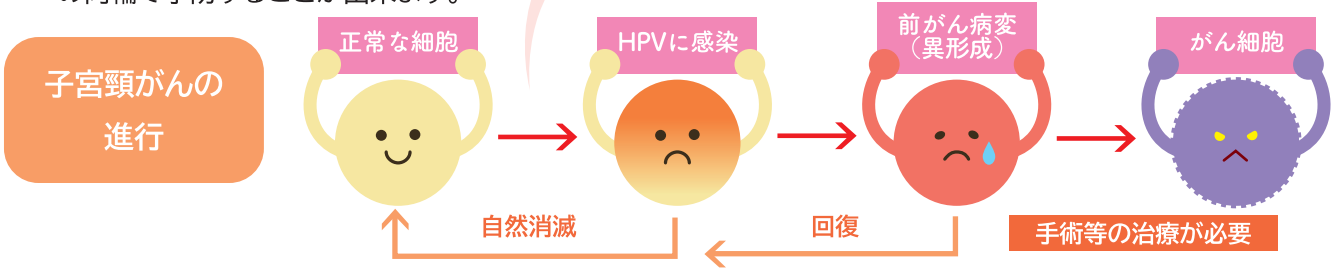
【出典】岡山県におけるがん登録 2020

「子宮頸がん」の予防法は？

ワクチン（一次予防）と検診（二次予防）の両輪で予防することが出来ます。

一次予防：HPVワクチン
感染そのものを防ぐ

二次予防：子宮頸がん検診
がんの芽を早期発見・治療



岡山県

一次予防「HPVワクチン」の接種

対象者

①小学校6年生から高校1年生相当の女子

②平成9年度から平成20年度生まれまでの女性のうち、令和6年度末までにHPVワクチンを1回以上受けた方

無料で接種できます（ただし②の方は令和8年3月末まで）。予約が必要ですので、接種場所などをお住まいの市町村のホームページ等で確認しましょう。

二次予防「子宮頸がん検診」ってどんな検診？

一般的な流れ

①視診
膣鏡を膣内に挿入し、子宮頸部を観察します。

②内診
子宮の形、大きさなどを確認します。

③細胞診
ブラシやヘラで子宮頸部をやさしくこすり、細胞を採取します。



検診を受けるには？

職場で検診を受ける機会のある方 職場のがん検診を受診しましょう。

職場などで検診を受ける機会のない方 市町村のがん検診を受診しましょう。

一般的な検診までの流れ（市町村のがん検診）

①選ぶ
市町村からの案内（郵送）や広報誌、ホームページを見て、検診機関等を選ぶ。

②予約する
検診機関に予約する。

③受ける
受診券、健康保険証などを持って行き、検診を受ける。

市町村が実施する検診は、費用の一部を市町村が負担してくれるので、**無料**から**2,000円**程度の自己負担で受けることができます。

市町村お問い合わせ先

検診日時、費用などは、お住いの市町村へお問い合わせください。

検診で**要精密検査**となった場合、**必ず**精密検査を受けてください。

子宮頸がんは予防できるがんです。詳しくはこちらをご覧ください。

岡山県疾病感染症対策課
TEL：086-226-7321

2025年5月発行

岡山県マスコット「うらっち」

岡山県がん患者支援情報提供サイト
岡山がんサポート情報